

基本データ

1 人口

2018年10月1日現在の人口は7,539,185人、うち女性は3,767,407人で、男性より4,371人少ない。(表1)

年齢3区分別人口の割合をみると、15歳未満の年少人口の全体に占める割合は減少傾向にある一方、65歳以上の老年人口の割合は増加している。(図1・図2)

また、男女人口比率では、64歳までは男性の割合が女性を上回っているが、65歳以上では逆に女性の割合が男性を大きく上回っている。(図3)

人口ピラミッドでみると、近年の出生者数の減少によりピラミッドのすそが次第に狭まり、「ひょうたん型」に近い形になっている。(図4)

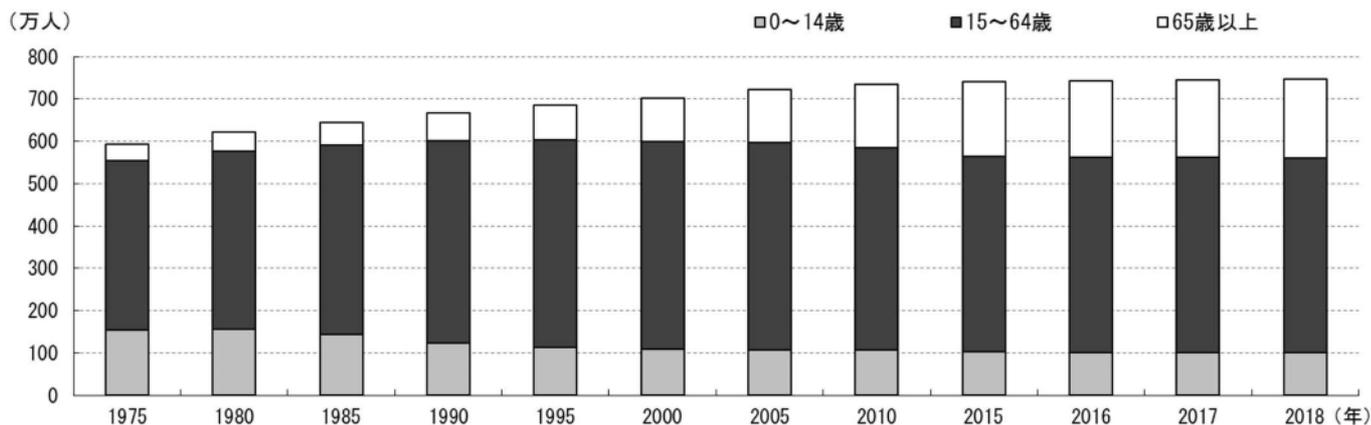
表1 年齢3区分別人口の推移

		総数(人)				割合(%)		
		総数	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上
女性	1975年	2,957,181	749,068	1,999,493	208,404	25.3	67.6	7.0
	1980年	3,109,332	757,244	2,089,215	262,351	24.4	67.2	8.4
	1985年	3,226,448	705,045	2,200,786	319,638	21.9	68.2	9.9
	1990年	3,335,776	603,488	2,339,593	389,207	18.1	70.1	11.7
	1995年	3,429,156	547,081	2,404,704	474,670	16.0	70.1	13.8
	2000年	3,517,602	527,761	2,402,418	579,363	15.0	68.3	16.5
	2005年	3,615,710	521,468	2,384,507	697,140	14.4	65.9	19.3
	2010年	3,706,499	519,487	2,334,108	827,335	14.1	63.4	22.5
	2015年	3,742,284	498,001	2,237,679	971,853	13.3	59.8	26.0
	2016年	3,751,696	494,938	2,229,075	992,961	13.3	60.0	26.7
	2017年	3,760,990	492,027	2,224,807	1,010,840	13.2	59.7	27.1
2018年	3,767,407	488,459	2,219,982	1,024,268	13.1	59.5	27.4	
男性	1975年	2,966,388	787,888	2,010,764	167,235	26.6	67.8	5.6
	1980年	3,112,306	798,115	2,113,090	199,862	25.6	67.9	6.4
	1985年	3,228,724	741,684	2,257,381	227,585	23.0	69.9	7.0
	1990年	3,354,827	633,295	2,445,228	267,076	18.9	72.9	8.0
	1995年	3,439,180	573,911	2,514,391	344,356	16.7	73.1	10.0
	2000年	3,525,698	553,519	2,512,439	440,636	15.7	71.3	12.5
	2005年	3,638,994	548,030	2,516,565	551,422	15.1	69.2	15.2
	2010年	3,704,220	545,767	2,457,337	664,750	14.9	67.0	18.1
	2015年	3,740,844	524,531	2,380,978	788,910	14.0	63.6	21.1
	2016年	3,755,995	521,236	2,382,444	805,915	14.1	64.2	21.7
	2017年	3,765,921	517,039	2,385,028	818,959	13.9	64.1	22.0
2018年	3,771,778	512,612	2,385,170	827,614	13.8	64.0	22.2	

※各年10月1日現在 ※年齢不詳があるため、年齢別の合計は総数と同一にならない。

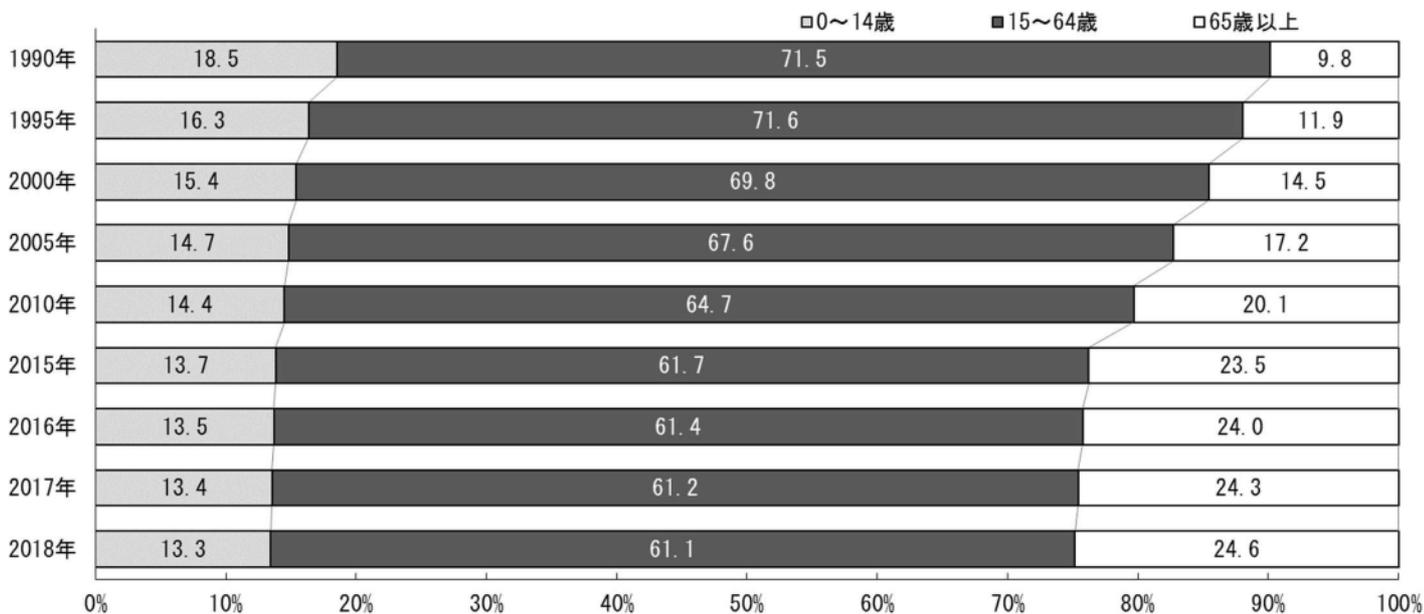
資料：2016～2018年は県民文化局「あいちの人口」、それ以外は「国勢調査」(総務省)

図1 年齢3区分別人口推移



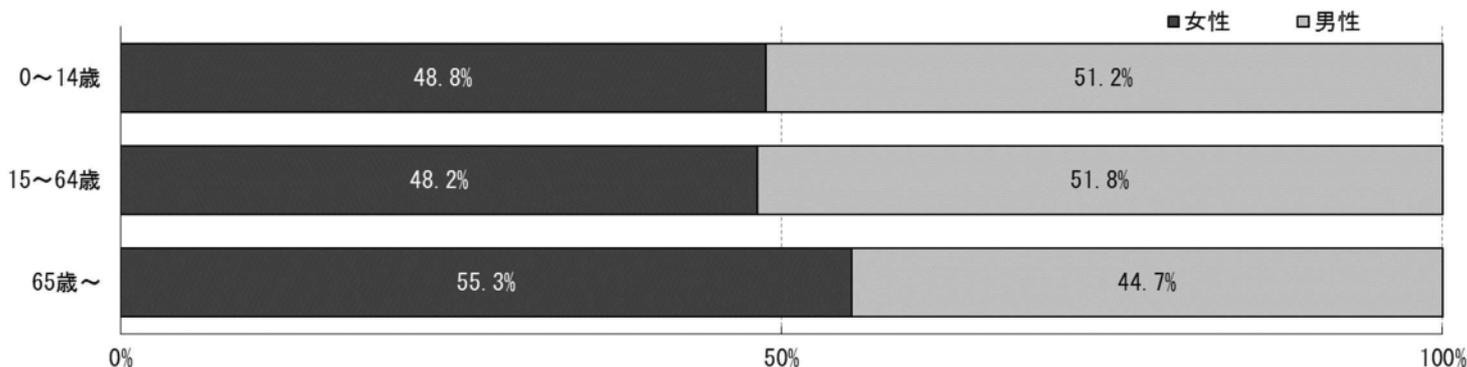
資料：2016、2017年は県民文化局「あいちの人口」、それ以外は総務省「国勢調査」

図2 年齢3区分別人口の割合の推移



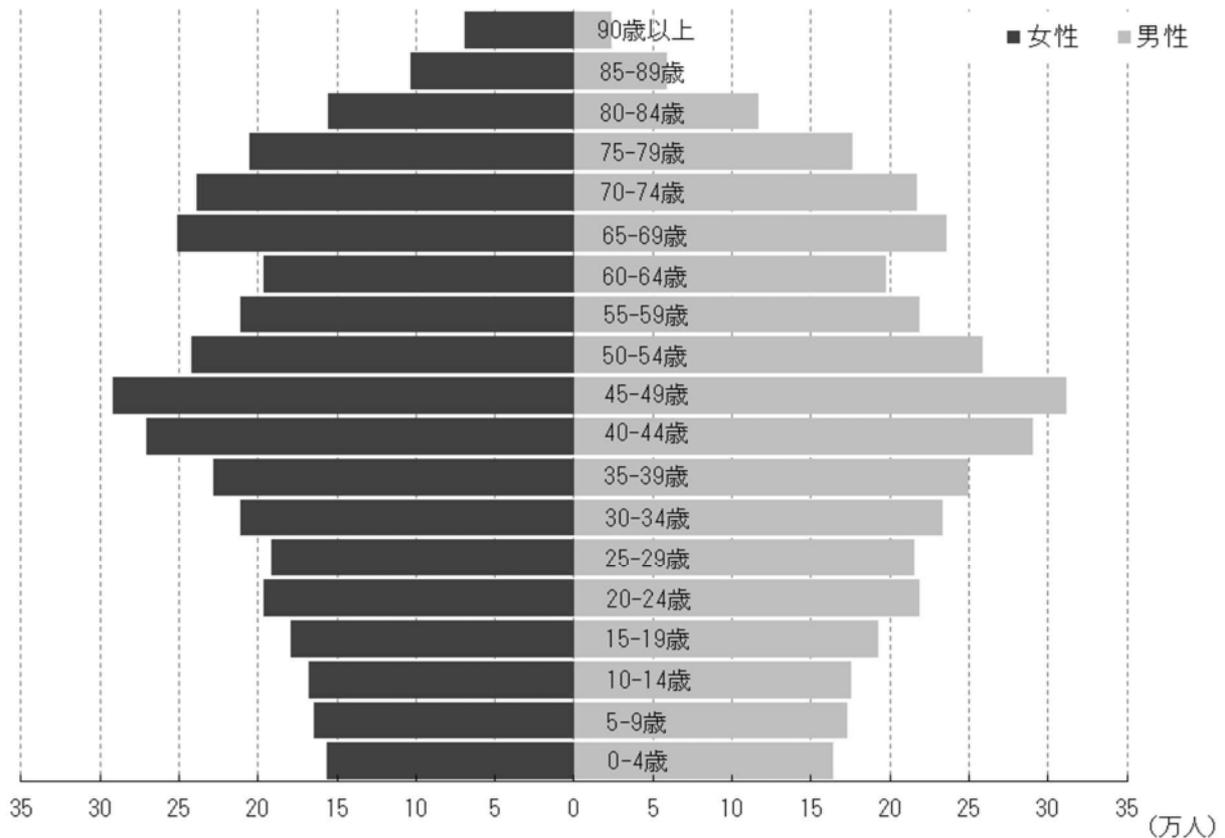
資料：2016、2017年は県民文化局「あいちの人口」、それ以外は総務省「国勢調査」

図3 年齢3区分別の男女人口比率（2018年10月1日現在）



資料：県民文化局「あいちの人口」

図4 人口ピラミッド(2018年10月1日現在)



資料：「あいちの人口」（県民文化局）

2 配偶関係

2015年の50歳時未婚率は、女性が11.39%、男性が22.27%で、男性が女性を10.88ポイント上回っている。（表2）

1995年から2015年までの年齢区分別未婚率の推移をみると、女性は特に30歳～34歳で、男性は特に45歳～49歳で、未婚率が上昇している。（表3・図5）

また、2018年の平均初婚年齢は、女性28.9歳、男性30.9歳で、男女ともに前年と同値であった。（図6）

2018年の婚姻の件数及び率は、前年より減少した。一方、2018年の離婚の件数及び率は前年より増加した。（表4）

表2 50歳時未婚率の推移

	女性 (%)						男性 (%)					
	1980年	1990年	2000年	2005年	2010年	2015年	1980年	1990年	2000年	2005年	2010年	2015年
愛知県	4.67	3.46	4.29	5.54	8.30	11.39	2.22	4.94	12.24	15.16	18.67	22.27
全国	4.45	4.33	5.82	7.25	10.61	14.06	2.60	5.57	12.57	15.96	20.14	23.37

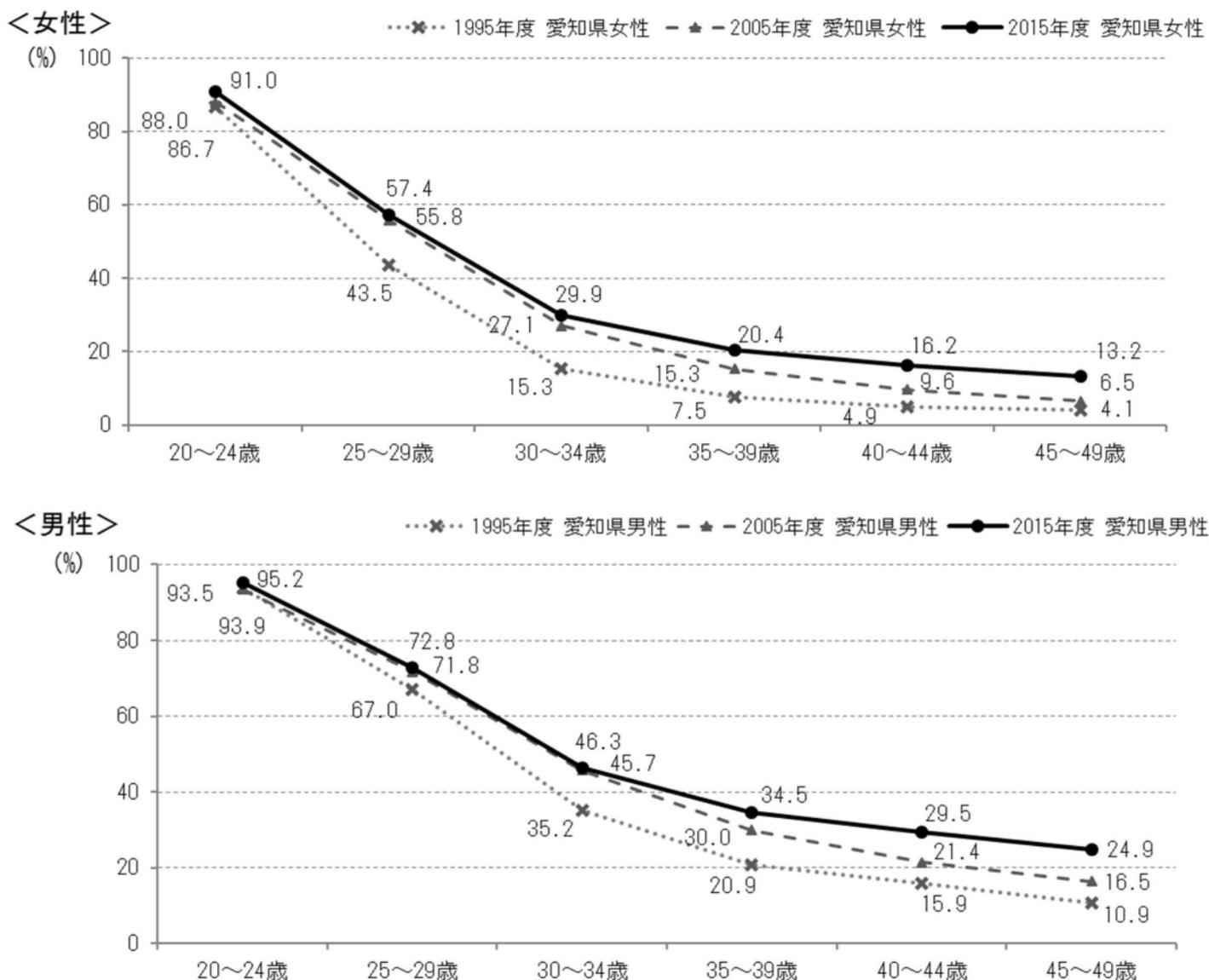
資料：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集2019」

表3 年齢区分別未婚率の推移

		女性 (%)					男性 (%)				
		1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年
20～24歳	愛知県	86.7	87.6	88.0	88.9	91.0	93.9	93.4	93.5	94.1	95.2
	全国	86.8	88.0	88.7	88.9	91.4	93.3	92.9	93.5	94.0	95.0
25～29歳	愛知県	43.5	49.5	55.8	56.0	57.4	67.0	68.5	71.8	71.4	72.8
	全国	48.2	54.0	59.1	60.3	61.3	67.4	69.4	71.4	71.8	72.7
30～34歳	愛知県	15.3	21.7	27.1	29.8	29.9	35.2	40.5	45.7	45.9	46.3
	全国	19.7	26.6	32.0	34.5	34.6	37.5	42.9	47.1	47.3	47.1
35～39歳	愛知県	7.5	10.9	15.3	19.0	20.4	20.9	24.2	30.0	34.3	34.5
	全国	10.1	13.9	18.7	23.1	23.9	22.7	26.2	31.2	35.6	35.0
40～44歳	愛知県	4.9	6.6	9.6	14.0	16.2	15.9	17.5	21.4	27.2	29.5
	全国	6.8	8.6	12.2	17.4	19.3	16.5	18.7	22.7	28.6	30.0
45～49歳	愛知県	4.1	4.7	6.5	9.8	13.2	10.9	14.5	16.5	20.8	24.9
	全国	5.6	6.3	8.3	12.6	16.1	11.3	14.8	17.6	22.5	25.9

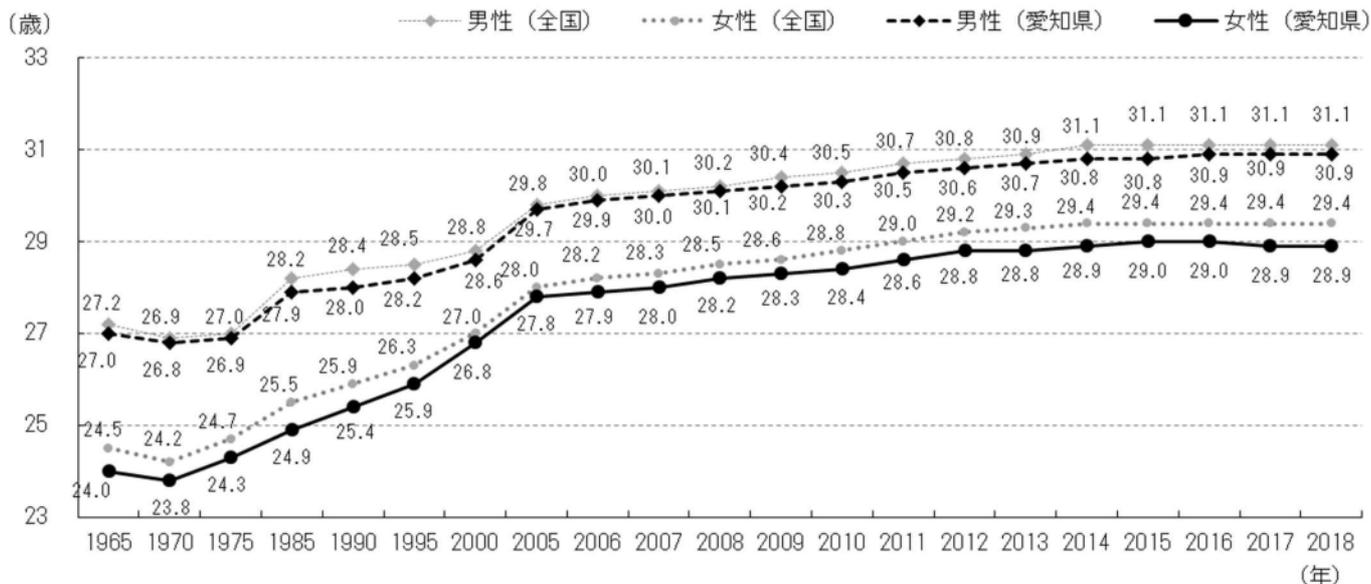
資料：総務省「国勢調査」

図5 年齢区分別未婚率の推移



資料：総務省「国勢調査」

図6 平均初婚年齢の推移



※2017年以前の数値は確定数である。

資料：県保健医療局「2018年愛知県の人口動態統計（概数）の概況」

表4 婚姻・離婚の件数及び率の推移

	年	婚姻		離婚	
		件数 (件)	率 (人口千対)	件数 (件)	率 (人口千対)
愛知県	1975年	52,212	8.9	5,430	0.92
	1980年	42,811	6.9	6,550	1.06
	1985年	40,875	6.4	7,766	1.21
	1990年	42,060	6.3	7,998	1.21
	1995年	48,022	7.1	10,405	1.54
	2000年	48,391	7.0	13,841	2.00
	2005年	43,948	6.2	13,997	1.97
	2006年	46,374	6.5	13,861	1.94
	2007年	46,940	6.5	13,772	1.92
	2008年	47,120	6.5	13,527	1.88
	2009年	45,790	6.3	14,513	2.01
	2010年	45,039	6.2	14,253	1.97
	2011年	42,425	5.8	13,451	1.85
	2012年	42,704	5.9	13,494	1.85
	2013年	42,302	5.8	13,077	1.79
	2014年	41,410	5.7	12,780	1.75
	2015年	41,054	5.6	13,102	1.79
2016年	40,671	5.6	12,464	1.70	
2017年	40,072	5.5	12,471	1.70	
2018年	39,115	5.3	12,652	1.73	
全国	2018年	586,438	4.7	208,333	1.68

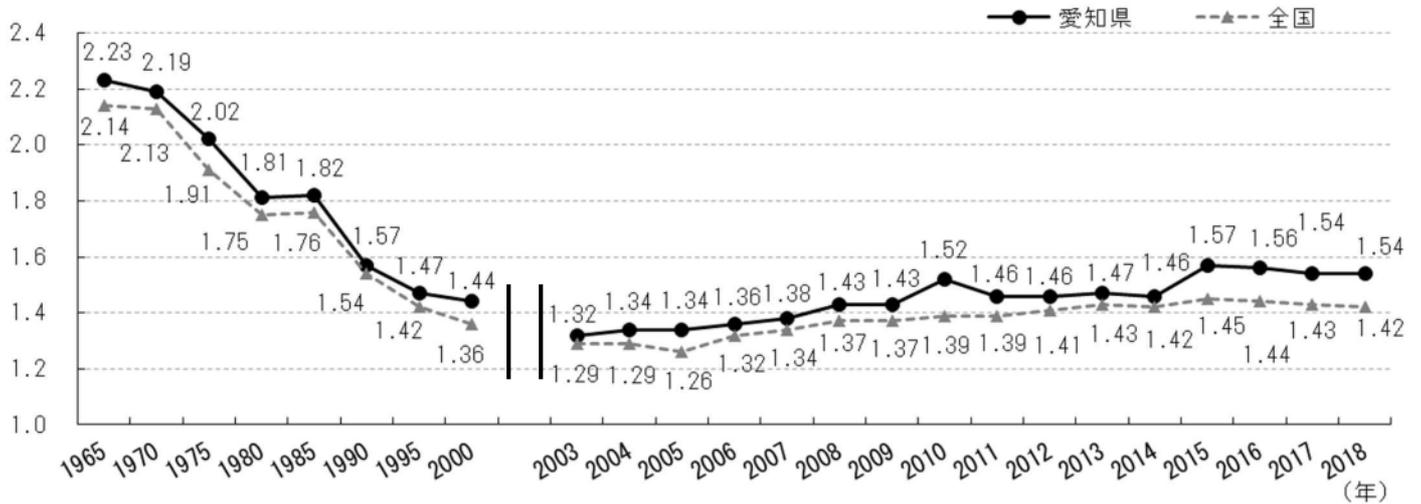
※2017年以前の数値は確定数である。

資料：県保健医療局「2018年愛知県の人口動態統計（概数）の概況」

3 合計特殊出生率

合計特殊出生率は、2011 年から横ばいで推移していたが、2015 年に上昇し、その後は全国の数値を 0.1 ポイント以上上回っている。

図 7 合計特殊出生率の推移



※2017 年以前の数値は確定数である。

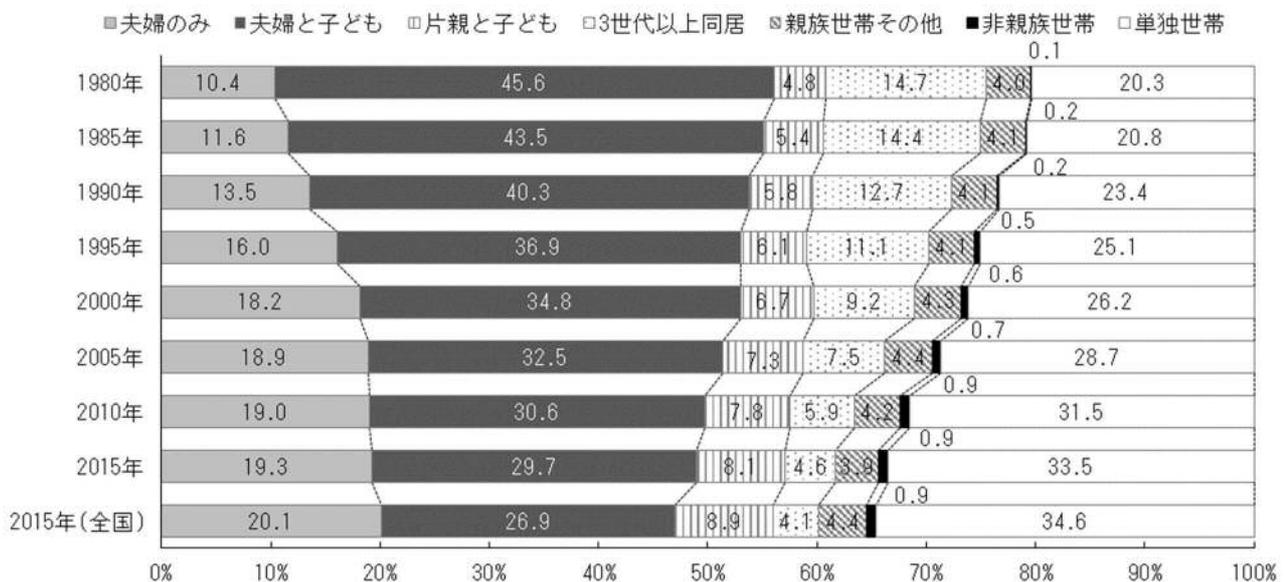
資料：県保健医療局「2018 年愛知県の人口動態統計（概数）の概況」

4 世帯

2015 年の一般世帯総数は 3,059,956 世帯で、核家族世帯（夫婦のみ、夫婦と子ども、片親と子ども）は 57.1%である。

1980 年から 2015 年の推移をみると、夫婦のみ、片親と子ども、単独世帯の割合が増加したのに対し、夫婦と子ども、3 世代以上同居の割合が減少した。

図 8 一般世帯の家族類型別割合の推移



資料：総務省「国勢調査」

I 男女共同参画社会に向けての意識改革

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という性別に基づく固定的な役割分担意識について、2017年に県が実施した調査においては、反対（「反対」＋「どちらかといえば反対」）が46.2%であったのに対し、「賛成」（「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）が36.0%と、反対が賛成を上回った。

「反対」と回答した割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では18・19歳が最も高くなっている。

図9-1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方 【総数、性別】

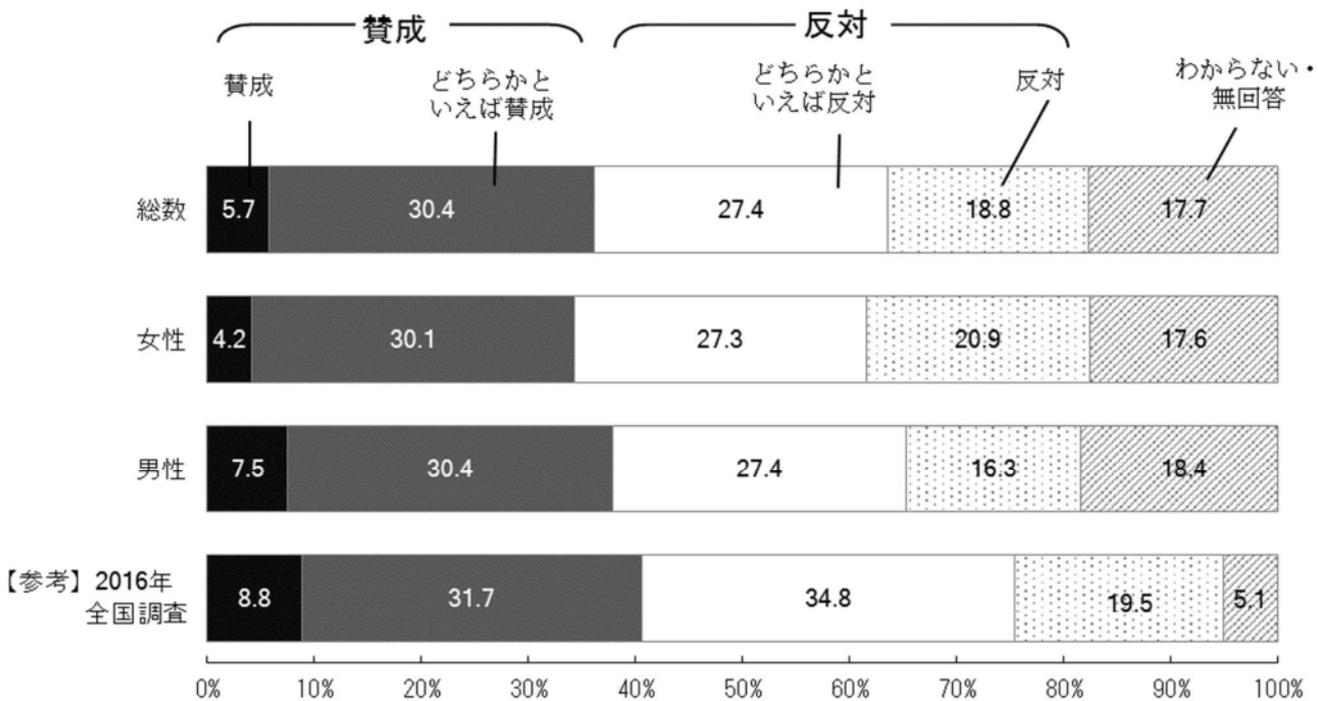
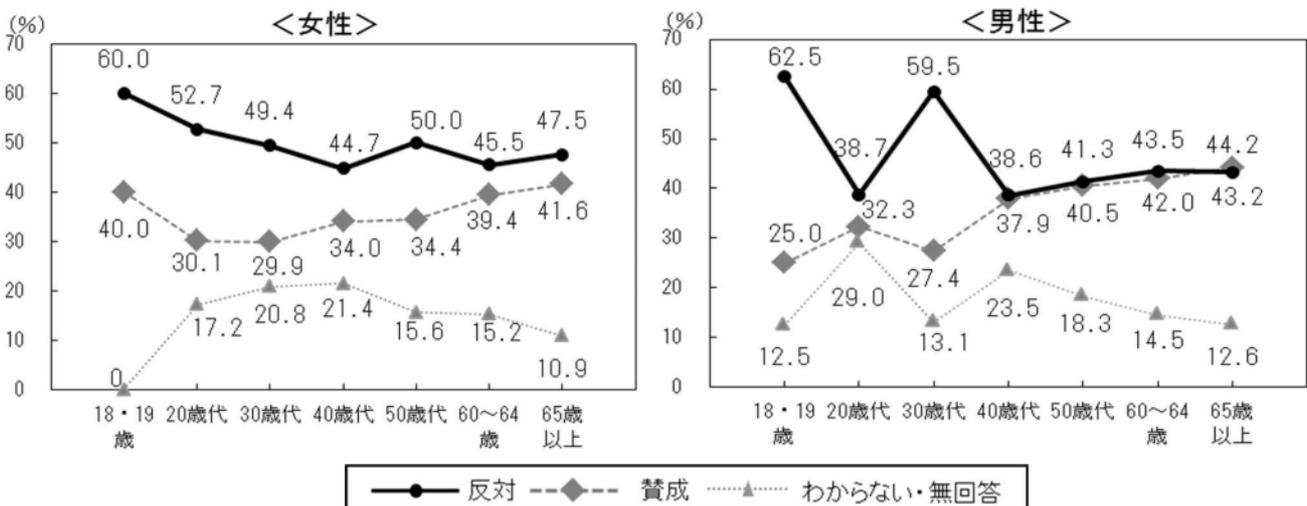


図9-2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方 【性・年齢別】



資料：県政策企画局「平成29年度第2回県政世論調査」（2017年11月調査）
内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（2016年9月調査）

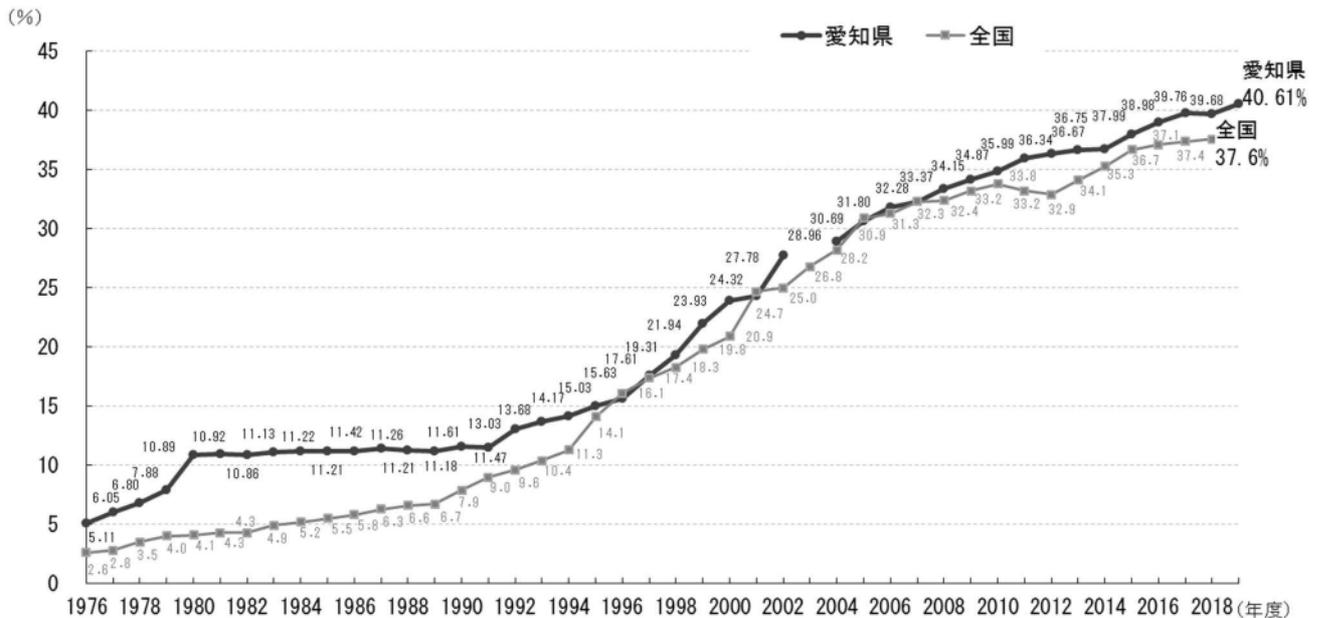
II あらゆる分野における女性の活躍の促進

1 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

(1) 県の審議会等委員への女性の登用

2019年4月1日現在の県審議会等委員数は958人(前年度930人)、うち女性数は389人(369人)で、女性の登用率は40.61%(39.68%)となっている。

図10 審議会等委員への女性の登用率の推移



※2019年度の全国データは、調査結果が出ていないため空欄としている。

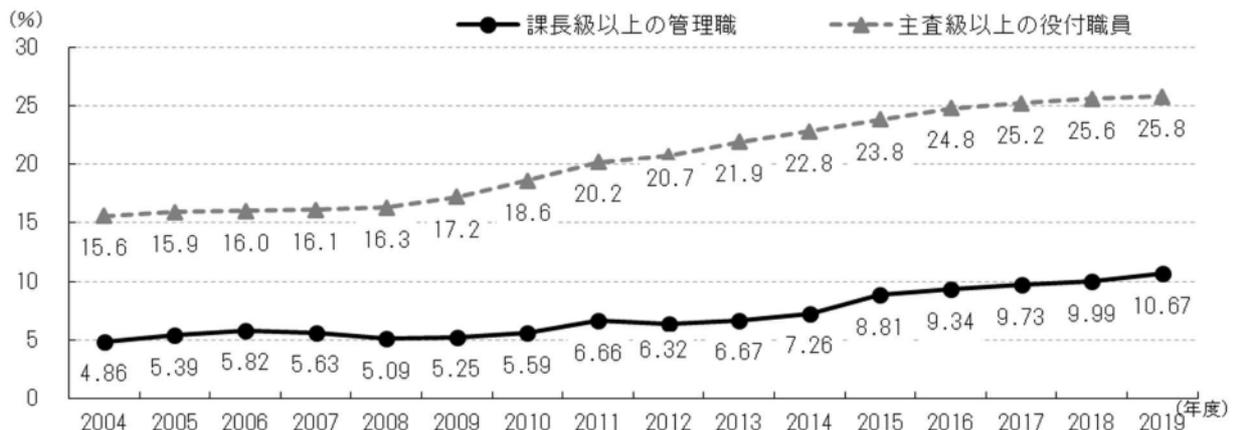
※2003年度の県データは、調査時期を変更したことにより実施していないため空欄としている。

資料：県民文化局、内閣府「国の審議会等における女性委員の参画状況調べ」

(2) 県の管理職等への女性の登用

2019年4月1日現在の県職員の管理職に占める女性の割合は、課長級以上は10.67%(前年度9.99%)、主査級以上の役付職員(課長級以上を含む)は25.8%(25.6%)となっている。

図11 県職員の管理職に占める女性割合の推移

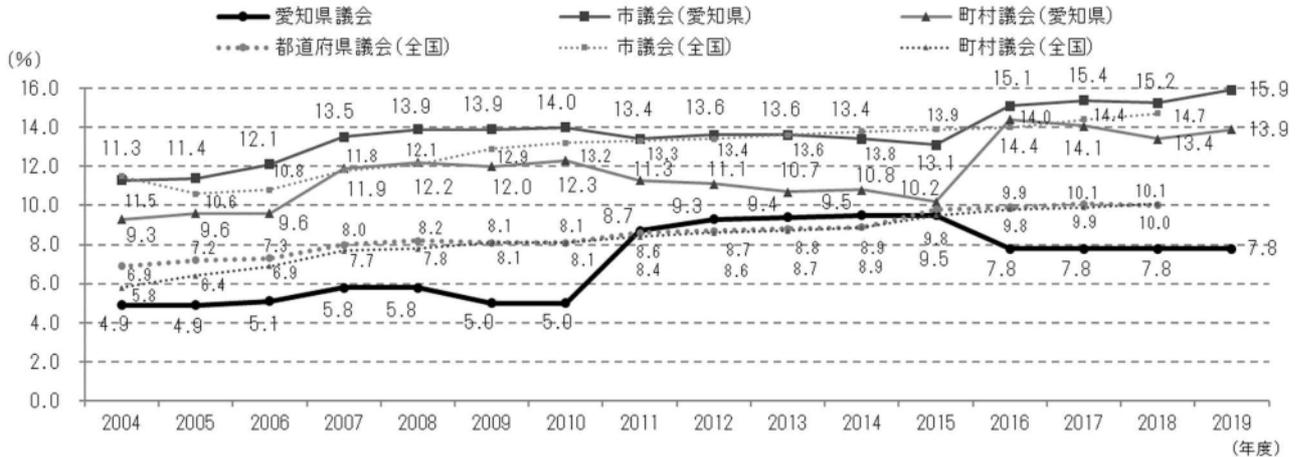


資料：県人事局

(3) 地方議会に占める女性の割合

2019年4月1日現在の地方議会に占める女性の割合は、県議会 7.8%（前年度 7.8%）、市議会 15.9%（15.2%）、町村議会 13.9%（13.4%）となっている。

図 12 地方議会に占める女性割合の推移



※市議会には、政令指定都市の市議会を含む。

※愛知県議会は、2002年度（3月31日現在）、2003～2015年度（12月31日現在）、2016～2019年度（4月1日現在）としている。

※全国データは、各年12月31日現在とする。2019年度のデータは調査結果がないため空欄としている。

資料：2019年度は県議会事務局、県民文化局

それ以外は、総務省「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調等」

2 地域活動への参画

自治会長に占める女性の割合は、2018年4月1日現在 5.6%（前年度 5.4%）となっている。

図 13 自治会長に占める女性の割合



資料：内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況（平成30年度）」

3 就業の状況

(1) 労働力人口の状況

2018年の本県の15歳以上人口に占める労働力人口比率は、女性が53.7%、男性が73.6%となっている。

表5 労働力人口（15歳以上）

区分	総数(a) (千人)	15歳以上人口				非労働力 人口(千人)	労働力 人口比率 (b/a)	完全 失業率 (c/b)	
		総数(b) (千人)	男女比	うち就業者 (千人)	うち完全 失業者(c) (千人)				
女性	愛知県	3,275	1,758	42.3%	1,730	28	1,515	53.7%	1.6%
	全国	57,390	30,140	44.1%	29,460	670	27,210	52.5%	2.2%
男性	愛知県	3,253	2,394	57.7%	2,351	43	857	73.6%	1.8%
	全国	53,620	38,170	55.9%	37,170	990	15,420	71.2%	2.6%
総数	愛知県	6,528	4,152	100.0%	4,081	71	2,372	63.6%	1.7%
	全国	111,010	68,300	100.0%	66,640	1,660	42,630	61.5%	2.4%

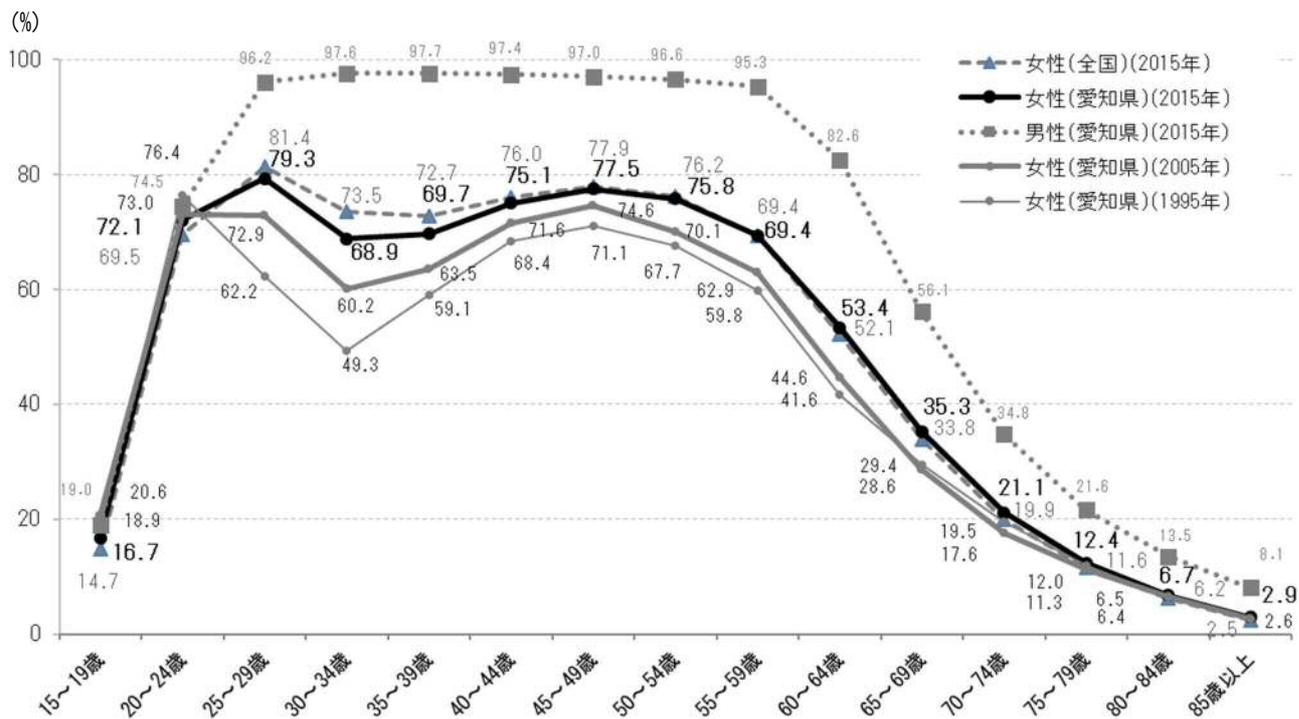
※表中の数値は、数値に分類不能及び不詳の数を含む。また四捨五入の関係で、総数と内訳の合計とは必ずしも一致しない。

資料：県民文化局「平成30年平均あいちの就業状況」、総務省統計局「平成30年労働力調査年報」

(2) 女性の労働力率

2015年の女性の労働力率を見ると、25歳～29歳の79.3%と45～49歳の77.5%を頂点に、30～34歳の68.9%を谷底とするM字型カーブを描いている。2005年と比べると、M字型カーブの底は上昇した。

図14 年齢階級別労働力率



資料：総務省「国勢調査」

(3) 平均勤続年数

2018年の平均勤続年数は、女性が9.0年で全国45位、男性が14.6年で全国2位と、本県の平均勤続年数の男女格差（順位）は全国で一番大きくなっている。

表6 男女の労働者の平均勤続年数(全国、愛知県)

区分		2017年		2018年	
		平均勤続年数	全国順位	平均勤続年数	全国順位
女性	愛知県	9.3年	31位	9.0年	45位
	全国	9.4年	-	9.7年	-
男性	愛知県	14.1年	7位	14.6年	2位
	全国	13.5年	-	13.7年	-

資料:厚生労働省「平成30年賃金構造基本統計調査」

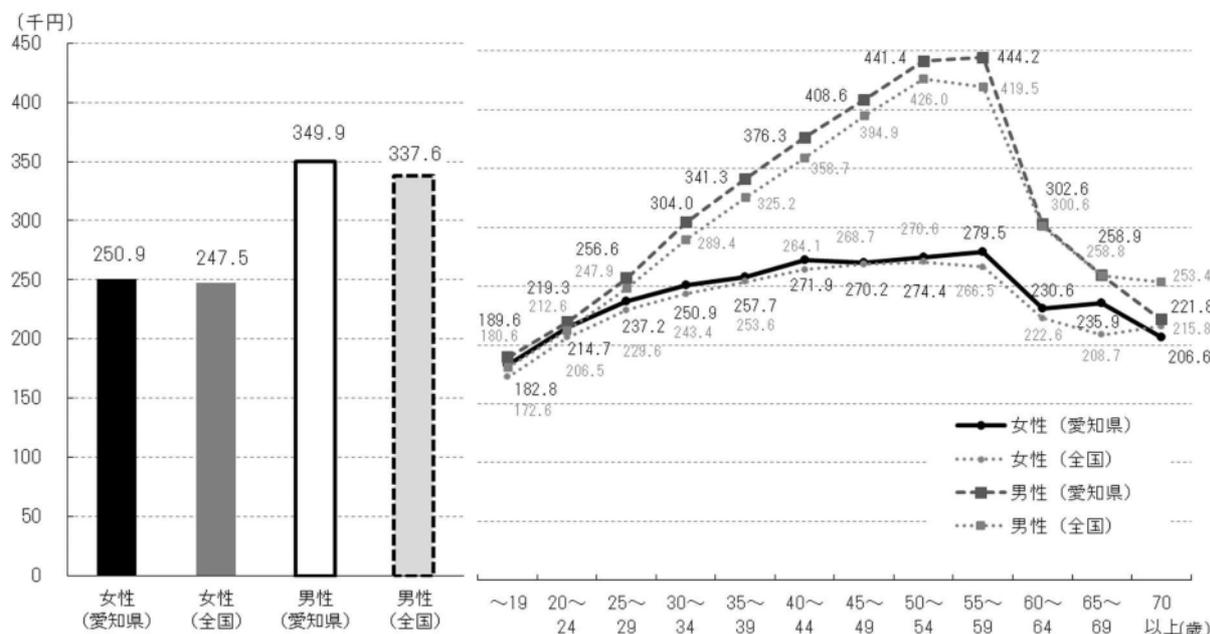
(4) 給与

2018年の県内労働者（短時間労働者を除く）の所定内給与額は、女性が約250,900円（前年252,400円）、男性が約349,900円（345,000円）で、女性の給与額は男性の71.71%（73.16%）であり、男女の賃金格差（比率）は全国43位となっている。

表7 性別、所定内給与額(全国、愛知県)

区分		2017年		2018年	
		現金給与額	全国順位	現金給与額	全国順位
女性(a)	愛知県	252.4千円	7位	250.9千円	7位
	全国	246.1千円	-	247.5千円	-
男性(b)	愛知県	345.0千円	5位	349.9千円	4位
	全国	335.5千円	-	337.6千円	-
男女差 (b)-(a)	愛知県	92.6千円	44位	99.0千円	46位
	全国	89.4千円	-	90.1千円	-
男女比率 (a)/(b)	愛知県	73.16%	34位	71.71%	43位
	全国	73.35%	-	73.31%	-

図15 年齢階級別所定内給与額



資料:厚生労働省「平成30年賃金構造基本統計調査」

4 さまざまな分野における男女共同参画の推進

(1) 農業委員に占める女性の割合

2018年10月1日現在の県内の農業委員の数は719人（前年度750人）、うち女性数は119人（120人）で、女性の割合は16.6%（16.0%）であり、前年度より0.6ポイント増加した。

図16 農業委員に占める女性の割合の推移（愛知県）



※各年10月1日現在

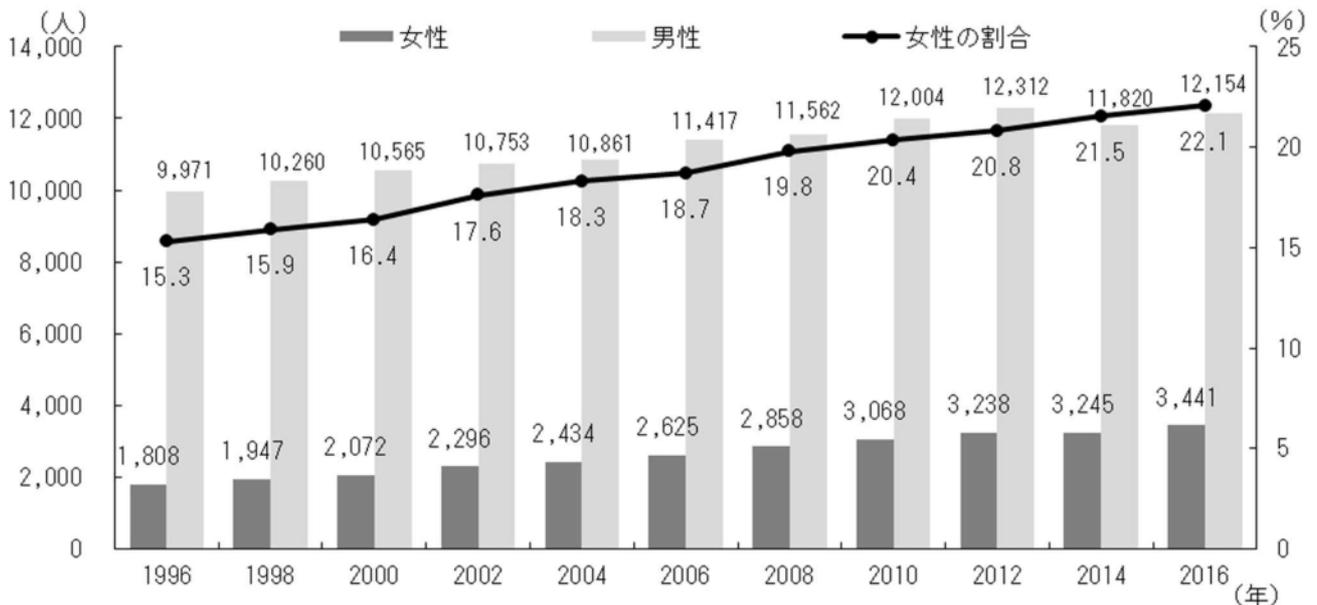
※2016年度4月1日の農業委員会法の改正により、2016年度から2017年度にかけて農業委員の定数削減が行われた。

資料：県農業水産局

(2) 女性医師の割合

県内の医師に占める女性の割合は、2016年12月31日現在で22.1%となっており、年々増加傾向にある。

図17 女性医師の割合の推移（愛知県）



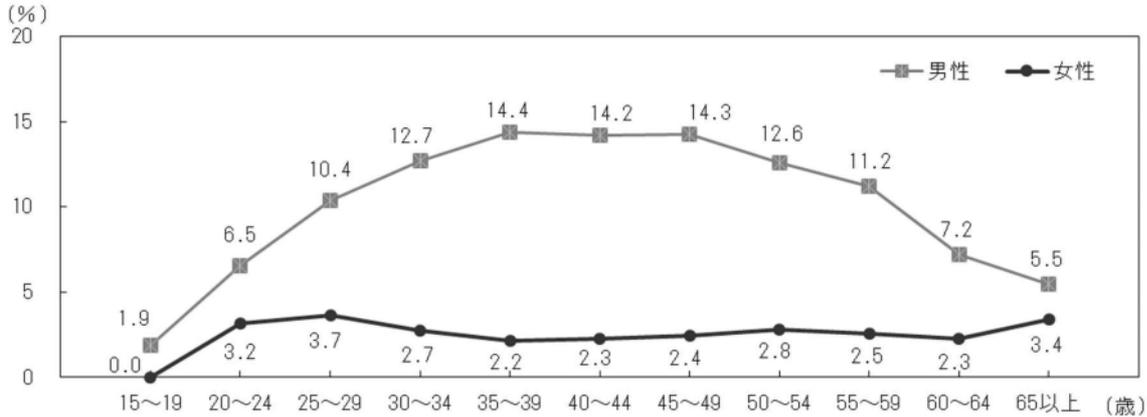
※各年12月31日現在 資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」

5 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)をめぐる状況

(1) 長時間労働の就業者の割合

総務省「2018年労働力調査」によると、週労働時間が60時間以上である人の割合は、すべての年代で女性よりも男性の方が高くなっており、特に子育て世代にあたる30代、40代の男性の割合が高くなっている。

図 18 週労働時間が60時間以上の就業者の割合（全国）

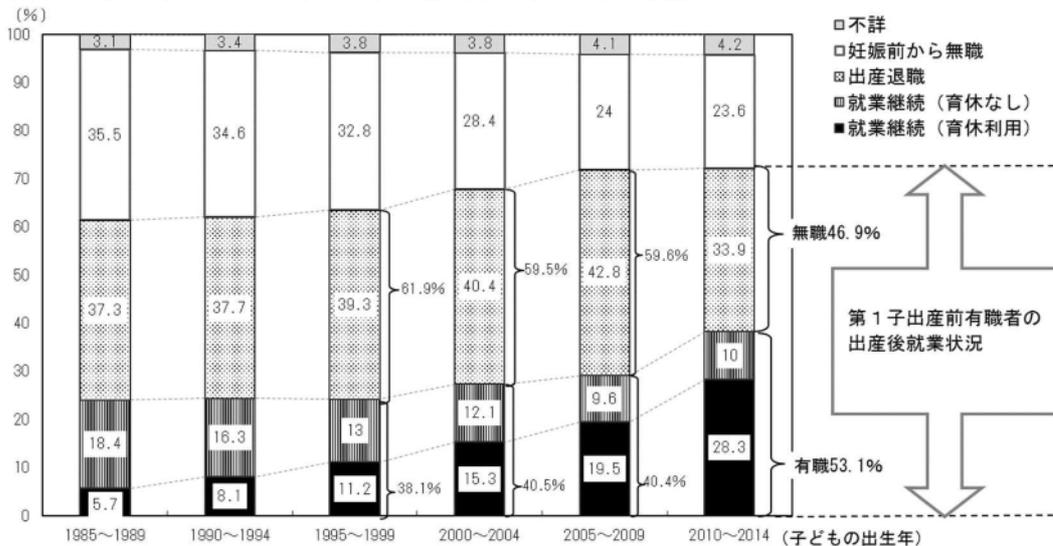


資料：総務省「2018年労働力調査」

(2) 出産前後の継続就業の割合

第一子出産前後に就業を継続する割合は、これまで4割前後で推移してきたが、2010~2014年で約5割へと上昇した。また、育児休業を取得して就業継続した女性は、育児休業法成立前の1985~1989年の5.7%から28.3%へと大幅に上昇した。

図 19 子どもの出生年別第一子出産前後の妻の就業経歴（全国）



※国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向基本調査(夫婦調査)」より作成。

※第1子が1歳以上15歳未満の子を持つ初婚どうし夫婦について集計。

※出産前後の就業経歴
 就業継続(育休利用) — 妊娠判明時就業～育児休業取得～子ども1歳時就業
 就業継続(育休なし) — 妊娠判明時就業～育児休業取得なし～子ども1歳時就業
 出産退職 — 妊娠判明時就業～子ども1歳時無職
 妊娠前から無職 — 妊娠判明時無職～子ども1歳時無職

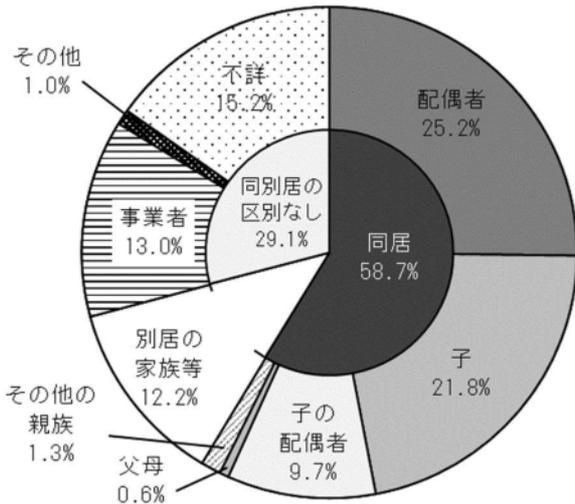
資料：内閣府「令和元年版男女共同参画白書」

III 安心して暮らせる社会づくり

1 高齢男女の健康と自立

同居の主な介護者のうち、66.0%が女性となっている。また、要介護者との続柄を見ると、配偶者が介護者全体の25.2%と最も高くなっている。

図 20 要介護者から見た主な介護者の続柄（全国）



	男	女
2007年	28.1%	71.9%
2010年	30.6%	69.4%
2013年	31.3%	68.7%
2016年	34.0%	66.0%

資料：厚生労働省「平成 28 年国民生活基礎調査」

2 DV(ドメスティック・バイオレンス)の相談件数

2018 年度に愛知県女性相談センターに寄せられたDVに関する相談件数は、面接相談 549 件、電話相談 603 件となっている。

図 21 DV相談件数の推移（愛知県）



資料：県福祉局

3 性差を踏まえた健康づくりの支援

(1) 平均寿命

2017年の平均寿命は女性87.13歳、男性81.30歳であり、女性が男性より5.83歳上回っている。

表8 平均寿命の推移

	愛知県		全国	
	女性（歳）	男性（歳）	女性（歳）	男性（歳）
1975年	76.79	72.66	76.89	71.73
1985年	80.78	75.56	80.48	74.78
1990年	82.03	76.47	81.90	75.92
1995年	83.16	76.87	82.85	76.38
2000年	84.51	77.99	84.60	77.72
2005年	85.21	78.88	85.52	78.56
2010年	86.14	79.62	86.30	79.55
2015年	86.66	81.03	86.99	80.75
2016年	86.91	81.26	87.14	80.98
2017年	87.13	81.30	87.26	81.09
2018年	—	—	87.32	81.25

※全国データについて、2015年までは完全生命表、そのほかの年次は簡易生命表による。

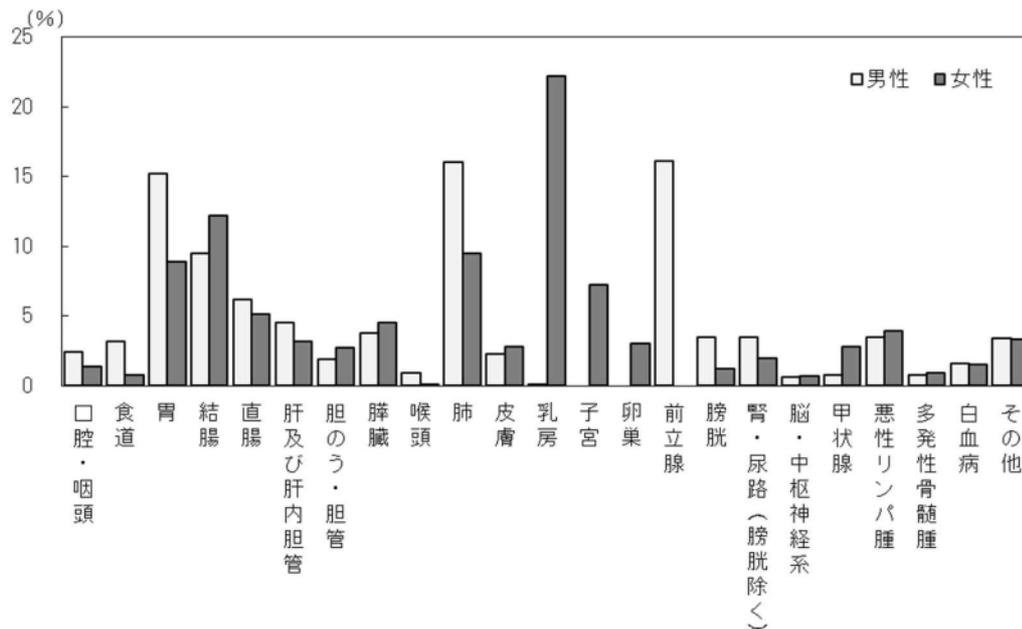
※2018年の愛知県データについては、まだ算出結果が出ていないため空欄としている。

資料：県保健医療局「平成29年愛知県民の平均余命について」、厚生労働省「平成30年簡易生命表の概況」

(2) がんの部位内訳

「愛知県のがん登録」によると、がん罹患した人のうち、女性では「乳がん」にかかった人が最も多いのに対し、男性では「胃がん」、「肺がん」、「前立腺がん」にかかった人が多くなっている。

図22 がんの部位内訳（愛知県）



※集計期間は罹患年月日が2015年1月1日から2015年12月31日の間、集計時期は2018年9月30日

資料：県保健医療局「愛知県のがん登録」

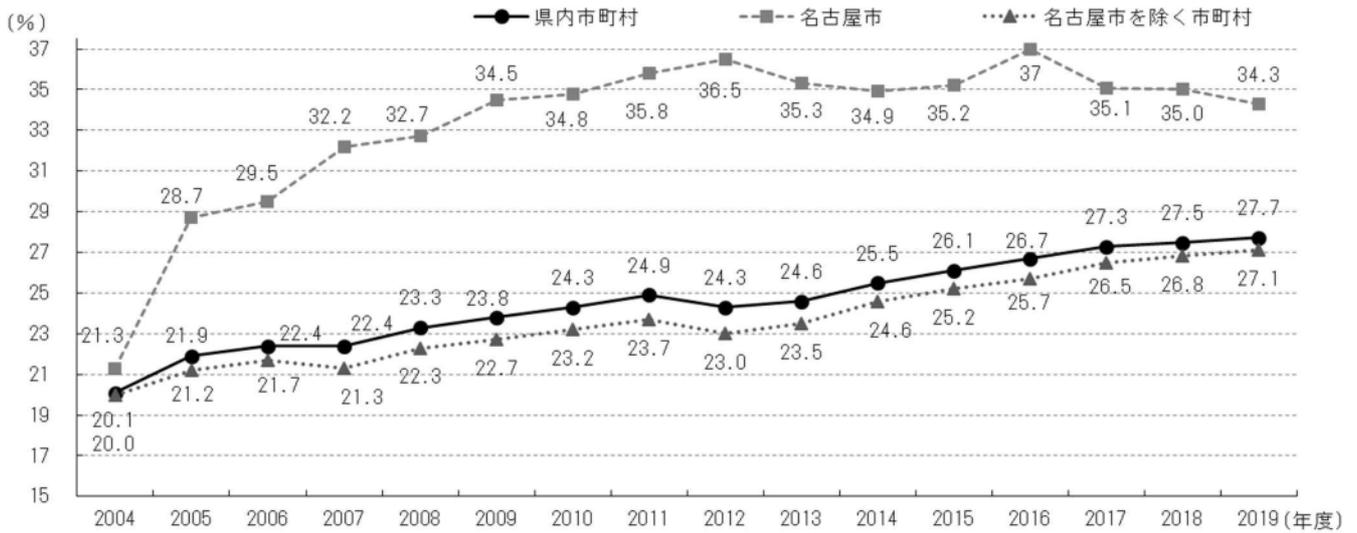
計画の推進

市町村推進体制

2019年4月1日現在の県内市町村の審議会等委員への女性の登用率は、27.7%となった。(図23)

男女共同参画計画を策定しているのは49市町村で、策定率は90.74%である。(図24)

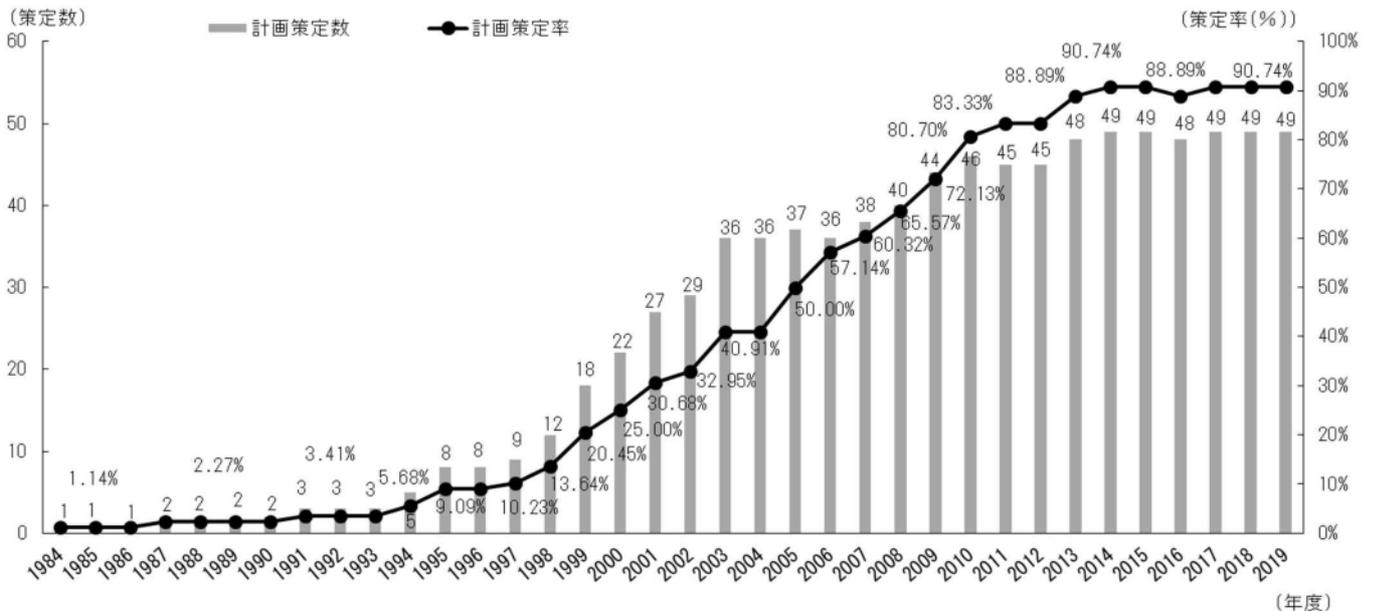
図23 市町村の審議会等委員への女性の登用率の推移



※各年4月1日現在、県内市町村は広域設置の審議会を含む。

資料：県民文化局

図24 市町村の男女共同参画計画策定率の推移



※各年4月1日現在

資料：県民文化局